

2011. 1. 1



NPOフォーラム・だより No.38

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX: 0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp/ Blog 安房国再発見 http://ameblo.jp/awabunka1

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

* スタッフ募集中! ガイド見習いも大歓迎。

- 1月 6日(木) 10:40~12:10 【講演】東京成徳大学講義「南房総の戦争遺跡」
- 1月 9日(日) 10:00~12:00 赤山無料ガイド
- 1月 10日(祝) 10:00~12:00 赤山無料ガイド
- 1月 22日(土) 10:00~17:00 都庁職病院支部女性部 30名 座学・基本・かいた村(碑・壕)
- 1月 23日(日) 9:00~12:00 // 富崎・安房神社
- 2月 2日(水) 10:30~16:00 牛久憲法9条の会 10名 座学・基本・かいた村(碑・壕)
- 2月 6日(日) 10:00~12:00 赤山無料ガイド
- 2月 11日(金) 10:30~14:00 ちばコープ成田センター40名 座学・赤山

《お知らせ》
12/29~1/3は、
赤山地下壕の休壕日。

赤山無料ガイドは毎月
第一日曜ですが、1月
は第二日曜と祝日に
実施します。

■ 戦跡ガイド講習会

… 持物=軍手、懐中電灯、草刈りカマ、ゴミ拾い袋等。初回は弁当持参。

	日時	集合	
①	1月15日(土)	10:00 館山地区公民館	【座学】安房の戦跡から見る本土決戦体制 【意見交換】ガイド活動について
		13:30 宮城プール裏P	【フィールドワーク①】赤山周辺
②	1月27日(木)	13:30 「伝平」前国道	【フィールドワーク②】洲崎方面
③	2月6日(日)	13:30 房南中学前	【フィールドワーク③】神戸方面
④	2月17日(木)	13:30 藤原運動公園	【フィールドワーク④】藤原方面

※当日の悪天候の場合、愛沢 090-9688-5799 / 池田 090-6479-3498 にご確認ください。

■ 知恵袋講座

…13:30~小高記念館 参加費 200円。楽しい茶話会です。…

◎ 1月25日(火) 講師: 石崎和夫さん テーマ: 一茶が歩いた安房の道

15歳で信州を出て、27歳頃には俳人として歩み始めた一茶を支えたのは、故郷信州と下総・上総・安房の俳人達であった。28歳で最初に鋸山の建碑式に参列し、その後も元名や勝山を度々訪れ、4代目醍醐新兵衛のもとで鯨見学をしている。53歳、55歳には、勝山から那古寺を經由し千倉まで35キロを一日で歩いたという。南房総市高崎の湯浴堂奉納の句額には、一茶の句や安房を代表する俳人たちの句がある。

■ 館山地区公民館講座

… 主催: 館山地区公民館 (問合: 0470-23-2482)

◎ 2月7日(月) 13:30~15:30 戦争を語る会 秋山 巖氏

「館山の空を飛んだ元落下傘兵から、山頭火を描く版画家へ」

◎ 2月9日(水) 13:30~15:30 イワシの話 I (歌・文芸編) 平本紀久雄氏

◎ 3月2日(水) 13:30~15:30 イワシの話 II (歴史・民俗編) 平本紀久雄氏

■ 里見の道ウォーキング

… 主催: 里見氏稲村城跡を保存する会 (問合: 0470-23-5769 金久)

◎ 2月11日(金) 岡本城跡から宮本城跡へ (詳細未定)

第6回安房・平和のための美術展より チャリティ寄付をいただきました。

安房に暮らすアーティストが参加する「安房・平和のための美術展」実行委員会(橋本芳久事務局長)より、NPO法人安房文化遺産フォーラムにチャリティ寄付が贈呈されました。愛沢代表が安房南高校在職時の平和学習から始まったウガンダ支援(AWA-MINAMI 洋裁学校)に対しても、CUFI(ウガンダ意識向上財団)を通じて寄付が贈られました。感謝申し上げます。

* 会費納入のお願い *

会費未納の方はご入金をお願いいたします。
会員種別は下記2種よりご選択ください。

【会員A】 NPOの趣旨に賛同し、日常の活動や運営を支え、総会に参加する個人。年会費 2,000円

【会員B】 NPOの趣旨に賛同し、情報を共有し、または資金等の援助をする個人または法人。
年会費(1口): 個人 1,000円、法人 10,000円

■ 旧安房南高校第一校舎見学会および保存・活用を考えるシンポジウム

◎ 2月13日(日)

13:00～14:00 旧安房南高校第一校舎(県指定文化財)見学

14:30～16:00 シンポジウム(館山市コミュニティセンター第一集会室)

千葉県内で二番目の女学校(安房高女)として開校し、安房第二高校、安房南高校を経て、安房地域の女子教育で大きな貢献を果たした後、安房高校と統廃合となり、今は空き校舎となっています。

木造の美しいシンメトリーの学び舎は、1930(昭和5)年の建築で、平成7年に千葉県指定有形文化財に指定されています。その価値を見つめ直し、利活用を考える機会です。



新年あけましておめでとうございます。

NPO会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2004年1月13日に設立総会、6月26日に認証を得てから、当NPO法人は丸7年となりました。その前身である戦争遺跡の調査研究・保存活動や、里見氏稲村城跡保存運動を含めると、20年余になります。長きにわたってお力添えいただいた皆様に対しまして、紙上をお借りして改めて御礼申し上げます。

“今ある文化遺産”を活かしたまちづくりを提案してきた市民活動の成果として、赤山地下壕は2004年に一般公開され、翌年に館山市指定文化財となり、稲村城跡は市道計画が変更され、国指定史跡まであと一步のところに来ました。歴史的環境も文化遺産も、放置されていれば、ゴミ捨て場や開発による破壊から免れませんが、その価値を文化財として認めさせてきた安房地域の市民運動は、全国的にも高く評価されています。

一方、富崎地区においては、5年の取り組みを経て、コミュニティ委員会の皆さんを中心に、「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」が設立され、当NPOが事務局を付託されています。

市民の熱意が実り、2009年には小谷家住宅が館山市指定文化財となりました。今から50年前、青木繁「没後50年」の年に、当時の田村利男館山市長が呼びかけ人となって、全国の美術家たちとともに寄付金を募り、《海の幸》記念碑が建立されたといひます。そして現在、全国の美術関係者の皆さんがNPO法人青木繁「海の幸」会を設立し、小谷家住宅修理のための募金活動をスタートしてくださっています。

青木繁「没後100年」にあたる本年、市財政の負担なしに記念碑を建立した先人にならい、市民活動と全国からの支援者の浄財によって、館山市指定文化財の小谷家住宅が修理され、青木繁《海の幸》記念館の開館が実現すれば幸いです。

また、アジア太平洋世界との繋がりを示す歴史が多い安房地域の歴史・文化遺産を通じて、「平和・交流・共生」の理念がいきる「地域まるごと博物館」を提唱してきました。

これまで、日韓、日米交流など、国際的なスタディツアーを実践してきましたが、その集大成のひとつが昨年8月におこなわれた「日中韓青少年歴史体験キャンプ」でした。

激動する国際社会のなかで、とくに「韓国併合100年」という節目にあたり、

日本・中国・韓国の青少年たち約160名が東アジア東端の安房に集い、

1週間にわたってフィールドワークや討論会などを行ないました。

安房の地から「平和の文化」を学び、東アジアの歴史認識や教科書問題などを語り合い、善隣友好を育んだことは、きわめて意義深いことでした。

さらに、「市民が主役のまちづくり」の一環として「立て直そう館山全市民の会」を呼びかけ、市民マニフェストへの足がかりを作りました。その後、当NPOから独立した組織の活動となりましたが、ともに力を合わせてくださった会員内外の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

多岐にわたり地域課題と向き合ってきたNPO活動も、8年目を迎えるにあたり、

設立の原点に戻って、世界に誇れる安房の歴史・文化遺産をさらに磨き、

NPO活動の財政的基盤や活性化を踏まえたものにしたいと願っています。

当NPOの理念にご賛同くださる皆様方の、なお一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

NPO法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢伸雄